

公立中学校部活動改革に対する神奈川県剣道連盟の取り組み

I 海老名市剣道連盟の取り組み

1. 海老名市中学校剣道部顧問との意見交換会

- ・日時 令和7年9月9日(木)18時30分～21時
- ・場所 ビナレッジ201会議室
- ・出席 海老名市剣道連盟：伊藤会長・飛知和副会長・上条副理事長・加藤事務局長
海老名市立中学校剣道部顧問：有馬中・大谷中・・海西中 柏ヶ谷中
- ・内容 中学校剣道部の活動状況の確認
市内中学校6校中4校に剣道部があり、剣道経験者が顧問。
4校の剣道部員総数は106名、うち初心者は89名。圧倒的に初心者が多い。
剣道部顧問は多忙を苦にせず、積極的に部活動に携わっている。

2. 海老名市教育委員会との意見交換

- ・日時 令和7年10月14日(火)16時～17時
- ・場所 海老名市こどもセンター
- ・出席 海老名市教育委員会：麻生教育支援担当部長・藤原指導主事
海老名市剣道連盟：伊藤会長・飛知和副会長・加藤事務局長
- ・内容 市教育委員会の部活動改革の進め方の確認。
令和8年度より部活動管理運営組織を段階的に立ち上げる。
部活動コーディネート専任職員と事務職員の2名を採用（予算計上）。

II 神奈川県剣道連盟の取り組み

1. 神奈川県スポーツ課との意見交換会1

- ・日時 令和7年10月24日(火)13時30分～14時30分
- ・場所 神奈川県スポーツ課会議室
- ・出席 神奈川県スポーツ課：三枝茂樹スポーツ担当局長、吉田崇スポーツ課長、
高木亮輔主任主事、藤博紀主事、國友徹太郎教育委員会指導主事
神奈川県剣道連盟：野見山会長・伊藤専務理事・中島事務局長
- ・内容 県所管課の部活動改革の進め方の確認。
市町村教委の部活動地域移行担当者と支部連盟との意見交換の場の設定をお願いしたい。
(県剣連)
教員異動時の剣道指導者の適正配置に配慮願いたい。(県剣連)

2. 神奈川県議会議長との意見交換会

- ・日時 令和7年10月31日(金)16時～
- ・場所 神奈川県庁・新庁舎5階・議長室
- ・出席 神奈川県議会：長田進治議長
神奈川県剣道連盟：野見山会長・佐藤副会長・飛知和副会長
伊藤専務理事・中島事務局長

- ・内容 部活動改革については、議会でも重要視している。
部活動の地域展開・移行がどのような形が良いのか、地域・学校によっても異なる。
地域移行により学校施設の利用における施設管理についても、今後の課題となってくる。
県立武道館の備品更新をお願いしたい。(県剣連)

3. 神奈川県剣道連盟・剣道研究会

- ・日時 令和7年11月2日(日) 9時30分~
- ・場所 かながわ県民センター
- ・出席 神奈川県剣道連盟会員

4. 神奈川県スポーツ課との意見交換会2

- ・開催日 令和7年11月27日(木) 16時15分~
- ・場 所 神奈川県スポーツ課・会議室
- ・出 席 神奈川県スポーツ課：吉澤 智グループリーダー、伊藤博紀主事
神奈川県剣道連盟：飛知和副会長、伊藤専務理事・中島事務局長

・内 容

国(スポーツ庁・文化庁)の動向について

「部活動改革及び地域クラブの活動の推進等に関する総合的なガイドライン」

令和7年10月改訂 スポーツ庁・文化庁 別紙参照

国は部活動の地域展開を加速させる考えである。

令和8年度～10年度 改革実行期間（前期）

令和11年度～13年度 改革実行期間（後期）

●休日→改革実行期間内に、原則すべての学校部活動において地域展開の実現を目指す。

●平日→各種課題を解決しつつ、さらなる改革を推進する。

神奈川県の動向

国の動向を見極め、現在、今後の進め方について検討中。

県内の部活動の実態は、地域差が顕著である。特に県西地域は部活動として活動するのが厳しい状況にある。

川崎は部活大好き先生が多い、一方、真鶴町は中学校が1校で部活の種目は1種目で、サッカーワン部のみという状況である。

生徒が多様なスポーツ活動の機会を確保できず、真鶴町も教育委員会も現状を問題視している。このような県内の状況から、一律の方向で進めることは困難であり、地域の実情に応じてどのように進めていくかが課題となっている。

2026年度の神奈川県の外部指導員報酬の予算について

スポーツ課：来年度の予算を削減する予定はない。

剣道の受益者負担の難しさについて

連盟：剣道は伝統的に高額会費を徴収して指導するという文化があまりない。

指導者はボランティアで、青少年の健全育成に取り組んでいる。

県立武道館の備品更新について

スポーツ課：担当グループに意見・要望を伝える。